

●朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)

白頭山鉍泉水工場が竣工

2021年10月4日発『朝鮮中央通信』によれば、両江道三池淵市の鯉明水地区に白頭山鉍泉水工場が竣工した。同月3日に竣工式がリ・テイル朝鮮労働党両江道党委員会責任書記、リ・ソングク両江道人民委員会委員長ら関係部門の活動家や工場の従業員たちが参加して行われた。

第3四半期に計画を超過達成した部門についての報道

2021年10月7日発『朝鮮中央通信』によれば、電力と建設建工業部門では、増産闘争、創造闘争、突撃闘争で第3四半期と9月の電力生産計画とセメント生産計画、建設組立額計画をそれぞれ超過達成したとのことである。

大安親善ガラス工場でも計画された大修理を進め、生産に開始して任せられた計画を遂行した。林業分野では、丸太生産計画が第3四半期に4%、9月に3%超過達成された。千里馬製鋼連合企業所と黄海製鉄連合企業所では、鉄鋼材生産闘争を繰り広げ、9月に鋼鉄と圧延鋼材の生産計画を完遂した。興南肥料連合企業所をはじめとする化学工業部門の複数の単位でも重要指標別生産計画を遂行した。石炭工業部門では、切羽ごとに毎日計画より大量の石炭を生産した。機械工業部門でも任せられた生産計画を遂行したとのことである。

平壤市万景台区域太平地区で住宅建設

2021年10月7日付『労働新聞』によれば、平壤市万景台区域の大平地区で住宅建設が推進されている。この建設事業に関しては、金正恩総書記が数回にわたって指導したとのことである。建設には各道から派遣された民間人があついているようである。

朝鮮労働党創立76周年の記念講演会

2021年10月11日付『労働新聞』によれば、平壤市の朝鮮労働党中央委員会本部で朝鮮労働党創立76周年の記念講演会が行われ、金正恩総書記が「社会主義

建設の新たな発展期に即して党活動をさらに改善しよう」と題する講演を行った。講演会には、朝鮮労働党中央委員会の趙甬元、朴正天、李日煥、チョン・サンハク、呉秀容、太亨書記ら、金才竜、呉日品、金英哲、ホ・ Cholマン、朴太徳、キム・ヒョンスク、劉進朝鮮労働党中央委員会部長らをはじめとする朝鮮労働党中央委員会の部署責任活動家、道、市、郡、連合企業所の党責任書記、委員会、省、中央機関の党責任活動家が参加した。また、クォン・ヨンジン朝鮮人民軍総政治局長をはじめとする武力機関の政治活動家が参加した。

同紙が報じた演説の内容は以下の通り。

「金正恩総書記は演説で、朝鮮労働党創立76周年を迎える出席者を祝い、朝鮮労働党が革命発展の要請に即して革命と建設の各分野で指導力と戦闘力を高める上で提起される原則的問題と実践方途を明らかにした。

金正恩総書記は、党創立記念日を契機に全党的な記念講演会を催した意図について明らかにした。近年、複数の重要会議を通じて国家的な現実態と今後の闘争方向に対する具体的な討議を重ね、短期的・中長期的任務とその実現のための課題と方途を手配したことについて触れ、全党の組織的意思を集大成した戦略・戦術を実現するための国家活動の成果いかんは朝鮮労働党が革命と建設全般に対する指導をどれほど正確に保障し、全党と全人民の無限の力をいかに発揮させるかによって決まると述べた。

金正恩総書記は、各党組織が党中央の革命思想と闘争方針をいかに受け止めて実行するかによって当該単位の成果が左右され、そのような成果が有機的に結合されて増幅されてこそ、朝鮮労働党が革命と建設に対する自己の正確な指導力を発揮し、力強い発展を主導することができる」と述べ、全党の党責任活動家にすでに提示された基本闘争方針をまとめて再浸透させ、現在、堅持すべき活動原則と活動気風、活動作風について強調するために全党的な記念講演会を催したと語った。

金正恩総書記は、まず76年という最長

の社会主義政権の歴史を記している朝鮮労働党が最も厳しく複雑な朝鮮革命を勝利の道へ導きながら、巨大な功績を積み上げたことについて述べた。抗日革命闘争のたくましい根を持つ朝鮮労働党が、党創立の初日から社会主義を目指した政策を打ち出して人民政権の誕生を準備したことについてと、自主路線と戦略戦術的方针を堅持しながら遂行した歴史的な革命と壮大な変革について概括し、巧みな指導で前代未聞の運命的な国難を切り抜けてわが国家の尊厳と荣誉、英雄性を守り抜いたし、真の社会主義の生命力を立証した世界社会主義の元老のような党としての朝鮮労働党の功績について評価した。朝鮮労働党が歩んできた革命指導の全行程で最大の功績は、受難多き弱小民族を党と領袖の周りに一心団結し、自尊心と創造力の強い偉大で立派な人民に育て上げたことであると述べ、革命の主体である人民大衆を教育、育成し、結束させる活動をつねに先行させたので、激変する歴史の渦巻きの中でも社会主義の真の本態を守り抜き、朝鮮革命を前進させてくることができたと語った。

朝鮮労働党が最も正確で科学的な党建設の道を開拓し、堅持したところに偉大な百戦百勝を成し遂げられた秘訣があると分析し、革命闘争と建設事業を成功裏に導いていくには革命の参謀部である党自体を鋼鉄の前衛隊伍にしっかりと固めるべきであり、時代の変遷とともにこの事業を引き続き深化させなければならないと強調した。

朝鮮労働党が初めの出発点から党建設問題を解決する上で独創性を発揮し、自己の発展の固有な軌道を堅持してきたことについて述べた。人民大衆の自主性を実現することを革命闘争と社会主義、共産主義建設の本質に規定し、人民のために組織され、人民のために闘う党としての存在名分を明白にしたことについて明らかにした。このことから、以民为天の理念と人民大衆第一主義を核とする偉大なチュチェ思想が朝鮮労働党の指導思想に定立され、時代と革命発展の要請に即して絶えず深化、発展したし、全社会をチュチェ思想化するという党の最高の綱領が確定したと言明した。

金日成主席が1948年8月、中央党学校1年制班の初の卒業生たちに書いた親筆に朝鮮労働党の性格と作風がよく反映されていると感慨深く述べ、人民を離れた、人民と離脱して人民に依拠しない党と国家の活動などあり得ないという主席の親筆こそ、朝鮮労働党の建設と活動の全過程に貫かれている不変の指針と原則を集約的に盛り込んでいる不滅の大命題であると述べた。革命と建設の主人は人民大衆であり、革命と建設を促す力も人民大衆にあるというチュチェ思想の原理を党の建設と活動に一貫して具現したことによって、人民に対する無条件的な奉仕が固有な党風に確立され、革命的党建設史において初めて母なる党という貴い称号を担ったことについて誇り高く評価した。

党の指導体系を強化する上でも、朝鮮労働党の原則と立場は確固たるものであったと述べ、民主主義中央集権制に基づく党の指導体系は本質上、革命と建設に対する領袖の唯一の思想体系、指導体系であることを明らかにし、党の唯一の指導体系を確立することを党建設の基本路線に規制することで、この問題において誤謬と偏向を徹底的に克服できる思想・理論的筋金と政治的筋金をしっかり立ててきたことについて強調した。

金正恩総書記は、これまでの10年間、朝鮮労働党の建設で収められた輝かしい成果について述べた。党と革命の新しい継承期、発展期に入りながら朝鮮労働党を強力な革命の参謀部、指導的力量に強化するための党建設活動がより深化して、党の指導思想が革命発展の新たな要求に即して金日成・金正日主義に定式化され、党の指導力と戦闘力が全面的に、細部的に再整備されたと述べた。

党の指導的機能と役割を強めるための革新的な措置に従って、党と国家の全般事業が明確な契機性と力動性を持って力強く進捗し、発展するようになったし、革命の発展を導く党の指導的権威と戦闘力が非常に高まったことについて述べた。

幹部陣容と党の隊伍を精幹化、精鋭化するための活動が行なわれ、党中央委員会から初級党、党細胞に至るまで各級党組織の任務がより明白になったし、全党に整然とした活動体系とより強い紀綱を立て

るための活動が深化したと述べた。

第8回党大会を契機に、朝鮮労働党が党の建設と活動の基本規範である党規約を革命発展の要請と主体的党建設の原理に即して改正したし、人民に対する献身的な奉仕を革命的党風に樹立するための闘争の中で朝鮮労働党の本態と人民的性格がより明確になったことについて明らかにした。

金日成主席と金正日総書記が積み上げたチュチェの党建設思想と業績をしっかりと継承して、朝鮮労働党がいかなる風波の中でもチュチェの革命偉業を導いていく戦闘的参謀部、人民の真の忠僕党としての性格と本態をしっかりと守り、自己の指導力を引き続き強められる確固たる体系と基盤を確立したのが、去る10年間の党建設において収められた輝かしい成果であると強調した。

金正恩総書記は、朝鮮労働党の前には現在の革命情勢に応じて党をより健全かつ強く威力あるものに建設すべき時代的課題が提起されていると述べ、史上初めての困難が折り重なった朝鮮革命の主観的・客観的環境とこれを果敢に打開するために朝鮮労働党が党大会と重要党および国家会議で提示した重大政策課題の徹底した実行が持つ重要性について分析した。

国家経済を全般的に整備し、発展させるための膨大な目標は、正確な発展計画と科学的な保証を求めると述べ、厳しい情勢の中で前例のない重大事業を力強く推し進めるための唯一の方途は全党が一致団結して党中央が打ち出した闘争路線と闘争原則に従って一つの方向へ党の指導を集中するところにあると強調した。

朝鮮労働党と政府が提示する課題は、党組織が奮発し、大衆が奮い立てば十分に遂行することができ、中央から地方に至るまで全ての単位が自分の前に課された革命任務を実質的に遂行するならわれわれの前進は今よりも何倍も速まり、わが人民が待ちこがれるよりよい明日もそれだけ早められるであろうと述べた。

金正恩総書記は、全党の全ての党組織と党責任活動家が党中央と共和国政府の基本闘争路線と方針をはっきり知り、党活動をさらに改善、強化して社会主義建

設の新たな発展を力強く牽引していくための重要課題を提示した。

金正恩総書記は、朝鮮労働党の不可抗力的な百戦百勝の力である党中央の唯一の指導体系を確立するための活動を引き続き深化させていくことについて述べた。全党に唯一の指導体系を確立することは、朝鮮労働党が厳しくて峻厳(しゅんげん)な闘争の中で収めた最も貴い政治的成果であると述べ、指導の中心、統一団結の中心が確固たるものであり、思想と指導の唯一性が徹底的に保障されたし、党中央の周りに全人民が一心団結した朝鮮労働党の力はいかなる逆境と挑戦も打開することのできる底知れない力であると強調した。

朝鮮労働党はすでに、1960年代に金日成主席と金正日総書記の天才的な先見の明と卓越した指導によって党の唯一の指導体系を強化する活動を党建設の最優先課題に深化させてきたと述べ、こんにち、世界に輝く朝鮮労働党と国家の高い権威と威信、わが人民が社会主義建設と社会主義防衛戦で収めた全ての奇跡的な勝利は党の唯一の指導体系を抜きにしては考えられない、わが国家を繁栄、発展させ、数千万の人民をうらやむことのない幸福へ導く近道もここにあると言明した。

党と国家の尊厳であり、威力である党中央の唯一の指導体系を生命のごとく守り、確立するのが全党の全ての党組織と黨員、この国の公民の神聖かつ当然な義務になるということについて明らかにした。党中央の唯一の指導体系を確立する活動の理想的な目標は、全党と全社会が一つの頭、一つの体になるようにすることである、つまり、全国が党中央と思想と志、行動を共にする一つの生命体になるようにすることであると強調し、党組織と党責任活動家が現在、唯一の指導体系の確立における要求をはっきり知り、この活動を主眼としてとらえていく上で提起される重要問題について述べた。

金正恩総書記は、現在、党活動を改善、強化する上で党内活動が持つ重要性について明らかにした。党内活動は、党を組織的・思想的に強化し、広範な大衆を党の周りに結束させるための活動として党と革命の運命に直結していると述べ、こん

にちの主観的・客観的形勢とわれわれに提示された膨大かつ重い闘争課題は党内活動に力を入れて党の指導力と戦闘力を全面的に強めることを求めていると語った。時代の変遷と発展する現実の要請に即して党内活動に力を入れて幹部陣容をしっかりと固める問題、党の隊伍を精鋭化し、党員に対する党生活の手配と指導を強化する問題、変化する環境と人々の心理に合わせて大衆との活動に力を入れる問題、掌握と検閲・指導を強化する問題、党検閲指導を強化する問題をはじめ、党組織活動において堅持すべき原則的問題について詳細に言及した。

金正恩総書記は、党組織と党責任活動家が思想活動を改善、強化することについて強調した。思想建設は朝鮮労働党の存在と強化、発展のための先決条件であり、革命と建設に対する政治的指導を実現していけるようにする根本保証であると述べ、前人未踏の道を切り抜けなければならない、ただ自力で富国強兵の大業を完遂すべき朝鮮革命にとって思想は最も威力あり、唯一の武器であると語った。

人々の意識状態と社会環境で大きな変化が起きているこんにち、思想活動を改善、強化するのはより死活の要求に提起されていると述べ、近年、人民大衆第一主義が党風、国風、社会的気風に確固と転換され、わが国家第一主義時代が開かれて、わが人民の忠誠心と自矜心、愛国熱意が昇華していることについて述べた。

思想活動はいつも重大視、最大の手間をかけなければならない党活動の中核事項であり、その威力を高める上では限界などあり得ないと指摘し、党組織と党責任活動家が自分の部門、自分の単位の思想活動実態を厳密に分析してみても党の思想活動を改善、強化するための画期的な対策を立てることについて述べた。

現在、朝鮮労働党の思想活動の基本要請は社会の全ての構成員を党中央の革命思想を信念化、体質化した真の忠臣、熱烈な愛国者に準備させるとともに、思想活動を一瞬も中断することなく引き続き度合いを強めながら時代と革命発展の要請に即して絶えず革新することであると強調した。

党の思想活動の基本要請から提起さ

れる最重要課題は、全党と全社会を党中央の革命思想で一色化するための活動を力強く推し進めることであると述べ、党組織と党責任活動家は党員と勤労者を党中央の革命思想でしっかり武装させるための学習熱風、学習気風を確立し、引き続き高調させていかなければならないと語った。この活動を党政策貫徹のための実践闘争と結びつけて行なう問題、各時期に提示される党の政策と方針を中央から下部末端に至るまで適時に正確に伝達、浸透し、解説、宣伝する活動を深みのあるものにねばり強く行なう問題、党中央の革命思想が全ての党員と勤労者の確固たる信条、思考と活動の絶対的基準になるようにする問題、5大教育を実質的に行なう問題を重要に指摘した。特に、社会主義はわれわれの生命、生活であり、未来であると述べ、社会主義信念教育の強化に注目を払うことについて強調した。

社会主義偉業の正当性と必勝不敗さ、資本主義の反動性と滅亡の不可避性を原理的に解説、宣伝することと、党組織が自分の地域、自分の単位の勤労者の福祉増進のためのよいことを積極的に探して展開してわが制度のありがたさを人民が肌で感じるようにし、朝鮮式社会主義にのみ固有な集団主義の優越性と生命力に対する教育に力を入れて崇高な集団主義精神と気風が高く発揚されるようにすることについて述べた。

朝鮮労働党の思想活動においていつも重視すべき課題の一つは、3大革命赤旗獲得運動が社会主義建設を促す威力ある大衆運動に、当該単位の発展の実際の推進力になるようにすることであると明らかにした。

3大革命赤旗獲得運動は、党組織が直接とらえて指導する最も高い形態の大衆運動であると述べ、この運動を直接受け持って主管する各級党委員会宣伝扇動部が3大革命赤旗獲得運動を時代の要請に即して高い水準で繰り広げるための具体的な計画と正確な実行対策を立て、下部に対する指導を絶えず深化させて全国が3大革命で沸き立つようにすべきであると強調した。

金正恩総書記は、党の思想活動を活気に満ちて展開していく上で提起される一

連の課題について明示した。党組織が人民の思想・感情と志向、発展する時代的趨勢（すうせい）に合致しながらも自分の地域、自分の単位の具体的実情と特性に合う新しく斬新な思想活動の形式と方法を積極的に探究、適用する問題、宣伝・鼓舞陣容と手段が自分の威力を十分に発揮するようにする問題、大衆を教育し、革命的情熱を盛り立てる上で大きな分を受け持っている文化・芸術部門が奮発して一日も早く新しい革命の炎を起こす問題、専任党宣伝活動家と初級宣伝活動家の役割を強める問題など、党思想活動の前進のための諸般の問題を明らかにした。

金正恩総書記は、行政・経済活動に対する党の指導を改善、強化することについて述べた。全ての党責任活動家が自分の部門と単位の实態はすなわち、自分が責任を持っている党組織と自身の指導水準と能力であることを認め、奮発して、行政・経済活動に対する党の指導において目立つ改善をもたらすことについて指摘した。

行政・経済活動に対する党の指導においては政治的指導、政策的指導の原則を確固かつ一貫して堅持するのが基本であると述べ、当該単位の経済活動を指導するにあたって党組織が方向舵の役割をよくし、そのために党委員会を正しく運営し、集団的協議、集団的指導を強化することについて強調した。

経済活動の成果いかんを左右する基本因子は大衆の精神力と科学技術であると規定し、党組織と党活動家が経済課題の遂行において政治活動を先行させる立場を堅持しながら、給養活動を伴わせて勤労者の熱意を盛り立て、自らの科学技術力を増大させなければならないと述べた。

党の経済政策の実行において省、中央機関の党組織の役割を強め、党組織と党活動家、特に道・市・郡党責任書記が法機関に対する党の指導を深化させることについて強調した。

金正恩総書記は、党組織と党責任活動家が勤労者団体に対する党の指導が党活動の重要な部門であることを銘記し、党の指導をよく行なうことについて述べた。党組織と党責任活動家は、勤労者団体組織が思想教育団体としての使命に忠

実であるようにすることに指導活動の重点を置き、勤労者団体活動家の陣容を打ち固め、各方面から指導、支援して同盟組織が党に忠実な政治組織としての本分を全うするようにしなければならないと述べた。

金正恩総書記は、党活動を改善、強化するためには全ての党責任活動家が革命的かつ戦闘的で健全な活動気風を維持し、強く発揮しなければならないと重要に言及した。党の路線と政策をどのように正確に実行するかということは全的に、党活動家が党の路線と政策をどのように受け止め、どんな闘争気質と闘争気風で働くかにかかっていると述べ、朝鮮労働党は社会主義建設の新たな勝利を目指す闘争綱領と路線、政策を貫徹する上で党活動家から闘争気風と革命的気質、活動作風を一新することを求めていると述べた。

党責任活動家が誰よりも党中央の革命思想と党政策でしっかり武装し、政治意識を高める問題、党政策を無条件に貫徹することを体質化、慣習化する問題、朝鮮労働党を強化して発展させ、朝鮮革命を勝利のうちに前進させる上で大きな威力を発揮した伝統的なわれわれの方式の活動方法をしっかり具現する問題、党活動において人民性を堅持し、健全な道徳品格を身につける問題について述べた。

人民のために存在し、人民に絶対的かつ無条件的に奉仕していく母なる党、人民の忠僕党である朝鮮労働党の思想と政策は党組織と党活動家を通じて人民に伝達、浸透され、党の尊厳と権威、姿も党活動家の品格を通じて人民に映されると懇ろに述べた。党責任活動家は朝鮮労働党の人民的性格を守り、人民大衆第一主義政治を実現する上で当然、模範になるべきであると強調し、仕事を一つ手配しても人民の利益に抵触しないか、人々に不便を与えないかを常に深く考えるべきであり、提起される問題も人民の立場に立って、人民の便宜保障の原則に基づいて臨んで処理しなければならないと述べた。

人々の何気ない言葉からも人民のための新しい仕事を探し、人民が苦しみ、解決を要する問題を解くために努め、大衆と苦楽を共にする党活動家だけが人民の支持を受け、活動においても成果を収めること

ができることと述べ、党活動家が特典、特恵を願うことなく清廉潔白に生活しろというのは朝鮮労働党が終始一貫強調している重要な問題であると述べた。

人民に奉仕する朝鮮労働党にとって人民の利益を侵害し、党と大衆を離脱させる行為は絶対に許せないと述べ、党活動で現れている偏向を徹底的に警戒することについて指摘した。

党責任活動家は、気高い道徳品性を身につけて人民を尊重し、無限に謙遜な態度を取るべきであると述べ、党活動家なら思想において透徹するだけでなく、道徳・品性においても最高である革命家になるべきであるということが党中央の要求であると語った。自慢と自賛を警戒し、自責と反省を奨励し、つねに悩み、苦心するのは活動家の変質を防ぎ、活動の発展を図るよい方策であると述べ、毎日、一日の活動状況を自ら総括してみながら今日、計画したことは全部遂行したか、活動で逃したことはないか、行動を正しくしなかったことはないかをつねに振り返りながら気を引き締める党活動家は変質しない、特に昇級に対する要求の度合いをいっそう強め、つねに自覚し、絶えず修養しなければならないと述べた。党責任活動家が党組織観念を高め、党生活に自発的に参加し、党組織を尊ぶ上で模範になることについて述べた。

金正恩総書記は、革命と建設に対する党中央の指導は中央党の各部署を通じて実現し、各部署がその任務をいかに遂行するかによって朝鮮労働党の指導的役割が左右されると述べ、党中央委員会の各部署の役割を強めることについて述べた。

金正恩総書記は、第8回党大会が設定した5カ年計画期間を国の経済を盛り立て、人民の食衣住問題を解決する上で効果的な5年、歳月を早めて山河をもう一度大きく変貌（へんぼう）させる大変革の5年になるようにし、次の段階の壮大な作戦を連続的に展開して世界がうらやむ社会主義強国をうち立てるという朝鮮労働党の決心と意志について再び宣明した。

この聖なる偉業を一日も早く実現するための根本保証は、革命の指導的力で

ある党の指導力と戦闘力を非常に強化するところであり、具体的に全党の各級党委員会の責任活動家の役割に大きくかかっていると述べ、全ての参加者がわれわれの偉業に対する無条件的な信念を抱いて苦勞に対して限りない誇りと甲斐を感じるべきであり、人民の笑い声から幸せを覚え、人民のいささかの不便も最も胸痛く思い、人民の期待に報いることを当然な道義、無上の栄光と思う真の党活動家にならなければならないと述べた。

金正恩総書記は、朝鮮労働党には千万の人民の大事な信頼という不可抗力の力があり、強固で団結した偉大な一心団結があると述べ、偉大な金日成主義、金正日主義が導き、励ます社会主義建設の飛躍的發展のために、人民の理想と念願が現実に変換する偉大な時代を早めるために知恵と情熱を尽くして力強く闘っていかうと熱烈に呼びかけた。」

国防発展展覧会「自衛—2021」開催、金正恩総書記が記念演説

2021年10月12日付および25日付『労働新聞』よれば、同月11日～22日、国防発展展覧会「自衛—2021」が平壤市西城区の三大革命展示館で行われた。開幕式には金正恩朝鮮労働党総書記が出席した。また、朝鮮労働党中央委員会政治局常務委員会委員である崔竜海、趙雨元、金徳訓、朴正天の各氏、党と政府の幹部である李日煥、チョン・サンハク、呉秀容、太亨徹、金才竜、呉日晶、金英哲、鄭京擇、金成男、ホ・ Cholマン、朴太徳、キム・ヒョンシク、劉進、朴明順、李哲萬、チョン・ヒョン Chol、パク・ジョンゲン、楊勝虎、チュ・ Cholギユ、李善権、張正男、ウ・サン Chol、金榮煥の各氏と内閣、省、勤労者団体の責任活動家が参加した。また、クォン・ヨンジン、李永吉、リム・グァンイルの各氏をはじめ、武力機関の責任活動家と朝鮮人民軍各軍種の連合部隊長が参加した。国防工業部門の功勞のある活動家と科学者、技術者が、展覧会に招待された。開幕式では、国防力の発展に特出した貢献をした人々に対する表彰があった。金正恩総書記は、参加者と共に展覧会場を見て回った。会場には、この5年間に開発、生産された各種の兵器、戦闘技

術機材を主とする強力な朝鮮の国防力が集結した。

金正恩総書記の演説は次の通り。

「同志の皆さん！

今日われわれは、栄えあるわが祖国—朝鮮民主主義人民共和国の国家防衛力の発展ぶりを直接一目で見ることのできる機会を得ました。わが朝鮮の先進性と近代性、勇敢性が凝縮された国防発展展覧会に参加した同志の皆さんを熱烈に祝います。

今日開かれた国防発展展覧会「自衛—2021」は、今年のわが党創立記念日を一層意義深く慶祝し、異彩あるものになっています。今回の国防発展展覧会はその名称が示しているように、不敗の自衛の路線を変わることなく堅持し、国家防衛力強化の新たな転機を開いていくわが党の雄大な抱負と指導力、実践的執行力を集中的に、直観的に見せ、わが国家が到達した国防科学、軍需工業の驚異的な発展ぶりとその輝かしい展望を示す一大祭典です。わが党の革命的国防政策とその大きな生命力が集大成された今日の盛大な展覧会は、大規模の閲兵式に劣らず大きな意義を持つ画期的な国力示威となります。

同志の皆さん！

変化した朝鮮革命の主体的・客観的条件と環境、そして世界的規模における軍事力の急速な変化の要求に即して祖国の安全をしっかり守り、子々孫々の永遠なる尊厳と幸福と安寧のためにさらに強く、絶対的な力を養うべき重大な歴史的使命を担い、わが党がこの5年間必然的に断行しなければならなかった生死を分かち国防工業革命の道、未知の雪道がまざまざと目に浮かびます。

厳しい幾多の試練と胸の膨らむ喜びの瞬間がここかしこに記されているこの5年間の国防力発展の道程は、その一步一步が党と祖国、人民と次世代の前にこのうえなく立派で、大きな光栄と誇りに満ちた革命の道、愛国の道、偉大な勝利の道程でした。

ここ展覧会場に並んでいる、この5年間に作り上げた武力装備を漫然と見るわけ

にはいきません。撫でて、触って、眺めれば眺めるほど限りなく誇りと自負を増す貴重なわれわれのものです。われわれが強くなるのを極度に恐れる敵対勢力の執拗な反共和国策動のため、よりひどい苦勞と試練を覚悟しながらも、わが党の国防強化政策を無条件に絶対的に支持声援してくれた全人民の信頼と熱烈な祖国愛がなかったなら決して作り上げることのできなかったのです。

あの武力装備には、われらの国防科学者と軍需工業部門の労働者がわが党に従い、国防建設の道で千辛万苦に耐え抜いてきた実に忘れがたい多くのいわくが秘められており、自分の情熱と知恵をすべて捧げて犠牲的精神を発揮して闘った彼らの濃い血と汗が滲んでいます。われらの国防科学者・技術者と軍需工業部門の労働者は、つねにわが党のいかなる要求や決心も無条件に絶対支持し、決死の覚悟で受け入れ、国防力強化の歴史的偉業を実現する道で限りない忠実さと英雄主義を発揮しました。

私はこの場を借りて、わが共和国の建国史にいまだかつてもたらすことのできなかった世界的な強大な国防力を築き、わが人民の宿望を叶える大きな最新の成果を上げること貢献した国防工業部門の科学者、技術者、功労者と軍需工業部門のすべての労働者に党と政府の名において、全人民の心をこめてあつい感謝を捧げます。

また、全人民に心から感謝を捧げます。

私は、今回の展覧会がわれわれの偉大な勝利を総括する勝利者の展覧会、国防部門と全国の人民に限りない力と勇気を与える激励と鼓舞の展覧会、朝鮮式社会主義建設のより速く、より力強い前進・発展を促す進取的な展覧会になるものと確信しています。

同志の皆さん！

わが党の国防政策の真髄は、自分の力で祖国と人民を守ることであり、絶えず発展・向上する強力な防衛力によっていかなる威嚇や挑戦も抑止し、平和をしっかり守ることです。

歴史的に外部勢力の侵略による受難を経ており、世紀を継いで持続する敵対勢

力の恒常的な威嚇の中で社会主義を建設せざるをえないわが民族史の教訓と朝鮮革命の要求と特殊性からして国防の強化は、わが党と政府と人民が片時も揺るがせにしてはならない必須にして死活の重大国事となっています。

相応の水準の自衛力を持つことができなければ外部の軍事的威嚇に引きずり回され、強要されるしかなく、ひいては国家と人民の存在そのものも守り抜くことができないというのは古今東西の世の道理です。

今日の世界において軍事技術と武力装備の急速な発展により、軍事作戦の様相と、地域ごとに国家の安全環境は変化しています。

今、朝鮮半島周辺の軍事的緊張のため、わが国家が対している軍事的危険性は10年前や5年前、いや3年前とも異なっています。表では平和そして協力と繁栄について唱えながらも、何らかの威嚇に対処するとしてアメリカと南朝鮮が頻繁に繰り広げているさまざまな軍事演習の内容を見ても分かるし、最近になって度を越すほど露骨になる南朝鮮の軍備近代化の企図を見ても、朝鮮半島地域の軍事的環境が変化する明日を容易に推し量ることができます。

最近南朝鮮は、アメリカの強力な後押しの下にステルス合同打撃戦闘機や高高度無人偵察機、膨大な各種の先端兵器を搬入し、自分の軍隊の戦闘力を更新しようとしています。そして、最近になってミサイルガイドラインを改定した後、自分の国防技術力をとくに強調して、さまざまな弾頭の開発、射程向上など下心が見え透いたミサイル能力向上をはじめ潜水艦の戦力強化、戦闘機の開発など多方面にわたる攻撃用軍事装備の近代化の企図に専念しています。

南朝鮮のこのような度を越す企図を放置しておくのも危険なことです。それよりも危険なことは、彼らの軍備近代化の名分と偽善的で強盗さながらの二重の態度です。

自分のしたいことは何でもする南朝鮮当局が、今ではわれわれの自衛的な国防力発展の権利まで奪おうとして、果てはわれわれの常用兵器の試験までも武力挑発だの、威嚇だの、緊張を激化させる不適切

な行為だのといったレッテルを貼り付け、アメリカをはじめとする敵対勢力の反共和国の声を率先して唱えています。

今では南朝鮮で「挑発」と「威嚇」という単語を「対北専用術語」として使っています。われわれの自衛的な国防力の発展に不法無道な国連の決議を笠に東縛のかせをはめ、自分たちは自ら一方的に設定した何かの威嚇に立ち向かうという、いわゆる正義の看板を掲げて軍備拡張に熱を上げている南朝鮮の偽善的な態度とアメリカの暗黙の庇護は、北南双方間の感情・情緒を引き続き傷つけており、彼らが追求している際限のない危険な軍事力強化の企図は朝鮮半島地域の軍事的均衡を破り、軍事的に不安定と危険をさらに増大させています。

南朝鮮はわれわれの威嚇を抑止するという愚にもつかない口実をかまえて、軍事力においてわれわれより優位を占めようという欲望を多くの契機にさらけ出し、その名分としては常にわれわれの威嚇を抑止し、平和を守るという口実を設けました。われわれを対話と協力の相手ではなく、威嚇の対象、抑止すべき相手と規定したこと自体が、表面ではそうでないふりをして骨の髄まで体質化した反共和国敵対心の集中的な表れです。

われわれは、南朝鮮のこのような欲深の野心と相手方に対する不公平を助長し、感情を傷つける二重で非論理的かつ、強盗さながらの態度に大きな遺憾の意を表し、今後引き続きわれわれの自衛的権利まで損なおうとした場合、決してそれを容認せず、強力な行動をもって立ち向かうでしょう。

しかし、南朝鮮が執拗にわれわれに言い掛かりをつけなければ、われわれの主権の行使まで侵害しなければ、朝鮮半島の緊張が誘発されることは決してないであろうことを断言します。そういうことさえなければ、われわれが南朝鮮と舌戦を繰り返すこともないでしょうし、そうする理由もありません。

重ねて言いますが、南朝鮮はわれわれの武装力が相対する対象ではありません。われわれが南朝鮮を標的にして国防力を強化しているのでないことは確かです。この地で同族同士で武力を行使する無残

な歴史が二度と繰り返されてはなりません。

今一度明らかにしますが、われわれは誰かとの戦争を論じるのではなく、戦争そのものを防止し、国権守護のために文字通り戦争抑止力を養っているのであり、われわれが言う戦争抑止力と南朝鮮が言う対北抑止力は語彙と意味、本質において異なる概念です。

われわれの主敵は戦争そのものであって、南朝鮮やアメリカ、特定の国家や勢力ではありません。

それで私は、この前の施政演説でも言及しましたが、一日も早く南朝鮮当局と全般的な南朝鮮社会の対朝鮮観点が、北朝鮮の脅威を抑止すべきだという古くて立ち遅れた懸念・苦悩と夢想的な使命感を捨て、過度の危機意識と被害意識から脱することを望むばかりです。われわれは現在の情勢を即興的、かつ感情的に、または主観的に判断してはならず、冷静かつ正確に見なければなりません。

問題となる南朝鮮の過度の軍事的肥満症や強欲でなくても、アメリカの差し金の下に今朝鮮半島周辺の軍事政治的な環境変化は、多くの展望的な危険をはらんでおり、われわれがより強力な実体に変わらなければならない切迫さを提起しています。

アメリカは最近、わが国家に敵対的でないというシグナルを頻繁に発信していますが、敵対的でないという信じていることのできる行動的根拠は一つもありません。この世に愚か者ばかりいるのではないのに、アメリカは朝鮮民主主義人民共和国に対して敵対的ではないという彼らの言葉を信じる人がどこにあり、もしそれを信じる人や国家があるならば必ず見てみたいものです。

アメリカはいまなお、誤った判断と行動で地域の緊張をつくり出しています。明白なのは、朝鮮半島地域の情勢不安定はアメリカという根源のため、容易には解消されなくなっていることです。

こうした現実からみると、今われわれが国防力の強化においてこれまで上げた成果に自己陶醉し、発展の道で少しでも足取りを緩めたり、息を入れようとするならば、地域の軍事的均衡は日ごとに危うくなり、わが国家はより好ましくない不安定や脅威的状

況に直面することもあります。

朝鮮半島につくり出された不安定な現情勢の下で、われわれの軍事力をそれに応じて絶えず強化することは朝鮮革命の時代の要求であり、われわれが革命と未来に対し担っている至上の責務です。現実には、われわれをしていざさかの自己満足や停滞も知らず、現存する憂慮や脅威を安定的に統制できる力と手段を備えることに拍車をかけることを求めています。

強力な軍事力保有の努力は平和的な環境であれ、対決的な状況であれ、主権国家が一時も揺るがせにしてはならない当然の自衛的、かつ義務的な権利であり、中核的な国策とならなければなりません。

それは自衛力が国家存立の根本であり、発展の保証となるためです。

われわれは、朝鮮半島地域の軍事的緊張を激化させる敵対勢力のあらゆる卑劣な行為に徹底かつ断固たる姿勢で立ち向かうでしょうし、平和な環境の根幹を揺るがす原因を次第に解消して、朝鮮半島地域に強固な平和をもたらすために全力をつくすでしょう。

しかし、平和のためのわれわれのあらゆる対外的努力は決して自衛権の放棄ではありません。

同志の皆さん！

朝鮮労働党第8回大会は、国防科学部門と軍需工業部門で5カ年計画期間に第2次国防工業革命を遂行して、われわれが手にした軍事技術的強勢を一層不可逆的なものにするための具体的な課題を示しました。それは、すでに築かれた戦争抑止力を質的、量的に一層強化し、国家安全のための必須の戦略戦術的手段の開発・生産をさらに加速化することを骨子としています。

わが党が信頼しているのは、党と革命の要求であれば無条件に空前絶後の奇跡を必ず創造するわれらの国防科学者と軍需工業部門の労働者の不屈の革命精神と特出した愛国心、聡明な頭脳と拔き出した才能であり、長期間の苦難の中で磐石のごとく打ち固めた強力な軍需工業土台です。

第一段階の国防工業革命の日々にわが党は、国防科学者・技術者の忠実性と

実力、各単位と人材の潜在力を十分に把握し、祖国と人民のために一身をなげうって決死の覚悟で奮闘することを体質化した頼もしい革命戦士がいる限り、国防力強化の先端目標を十分達成できるという確信を固めました。

このような信念をより固いものにし、新たな段階の勝利を楽観できるようにするのは、党中央が構想すれば常に創意的な方途をもって党の意図を無条件に実行する創造型の若くて錚々たる科学者の大集団がいることです。この若い才人たちはわが国の国防工業部門の現在と前途をしっかり支える担い手であり、党と国家の大きな力です。また、常に党と革命偉業に限りなく忠実なわれらの誇らしい軍需工業部門の労働者がいます。党はわれらの科学者と軍需部門労働者階級に大きな期待をかけています。

今から、われわれの自衛的な国防力は引き続き変わらぬでしょう。わが党の確たる意志と正確な指導があり、党と革命に無条件忠実な国防科学者と軍需工業部門の労働者がいるから、われわれの正当な愛国偉業の遂行ではより輝かしい成果が収められるでしょうし、それによってより確実で、より完備され、より強化された戦略的力、戦争抑止力がわが祖国と人民の安全と未来を守ることになるでしょう。

同志の皆さん！

今日、われわれが国防発展展覧会を盛大に開催する真の目的は、これを契機にして国防科学者・技術者と軍需工業部門の労働者を鼓舞し、人民に新しい信念と勇気を与えるところにもありますが、基本は国防力の発展を一層力強く促そうとするところにあります。われわれは、これまで自らの防衛力を革命の発展段階が求める水準で充実に強化してきた栄えある国防工業の歴史を振り返りながら自負することに止まらず、半世紀以上血と汗を流した強靱な努力と成し遂げた発展を強固な足場とし、それを踏まえてより高く飛躍することを考えなければなりません。

国防工業部門では、この展覧会を通じてこれまでの成果と発展程度を正確かつ総合的に分析・評価し、それに基づいて各

分野の飛躍的發展を構想・設計し、今まで蓄積された優れた経験を交流・共有し、今後より高い水準により速やかに到達するための方策を立てなければなりません。皆が第8回党大会が示した雄大な国防発展戦略を今一度胸に深く刻み付け、勇氣百倍、意気軒昂として国防の発展に寄与しなければなりません。

同志の皆さん！

わが党は革命の要求と現情勢について皆さんにそのまま打ち明けており、皆さんの堅実な姿勢と愛国衷情から大きな力を得ています。

今一度繰り返し強調することですが、何人も手出しできない無敵の軍事力を保有し、引き続き強化していくのは、わが党の揺るぎない最重要政策であり、目標であり、確固たる意志です。

ここに集まった同志の皆さんは、国防工業部門で達成された大きな成果に照らして自分の部門と単位の実態を冷静に振り返り、今後、党と国家、人民にどのような実績を出すかを新たに決心すべきであり、われわれの国防工業のさらなる発展のために力の限り支援する面でも覚悟を改めるべきです。

もちろん、国の経済事情が依然として困難で、他の部門でも足取りを速め、時間を争う重大な課題があるでしょうが、皆が国防力強化の重大さを忘れてはならず、国防力の優先的發展を抜きにした朝鮮革命のいかなる発展や成果も考えられないということを経験すべきです。

強力な自衛力がなくては党と政府の対内外政策の順調な推進を期待できず、国の安定と平和的環境も考えることができません。全ての人民もわが党と政府の一貫した強力な意志に従って国防力の強化を最大の愛国と見なし、物心両面の支援をしなければなりません。

次世代のためにもわれわれは強くなるしなければなりません。何はさておき強くなるのが重要です。

皆ともに祖国と革命、人民に立てた誓いを忘れず、必勝の信念と自信を持って偉大なわが国家の防衛力を全面的に強化するための聖なる偉業に身と心、知恵と熱情を惜しみなく捧げてください。われわれ

の誇り高い軍事力をじかに体験できるこの行事に参加した皆さんを今一度歓迎します。」

22日の閉幕式には、党中央委員会の朴正天書記をはじめ党中央委員会、国防科学研究部門、軍需工業部門の幹部、科学者、技術者が出席した。

平安南道順川市に新たなヤギ牧場建設

2021年10月20日発『朝鮮中央通信』によれば、平安南道順川市に新たなヤギ牧場が建設された。敷地は100数十町歩で、種ヤギ棟、子ヤギ棟、肥育棟などに区分されており、獣医室、乳加工室等もしっかりと備えているそうである。生産されたヤギ乳製品は、市内の保育園や幼稚園に供給することが予定されているそうである。

各地の果樹農場で生産されたリンゴと梨の品評会が開かれる

2021年10月21日発『朝鮮中央通信』によれば、各地の果樹農場で生産されたリンゴと梨の味の評価のための群衆（大衆）審査が同月20日、平壤市中区域倉田通りの恩情茶店で開かれた。大同江果樹総合農場、平安南道のクァイル郡と咸鏡南道の北青郡の果樹農場、平安南道の温泉果樹農場で生産されたリンゴと梨が優秀な評価を受けたとのことである。

各地で収穫や脱穀が進行

2021年10月23日付、同月25日付『労働新聞』は、各地でコメの収穫が行われており、収穫時期に降った雨でコンバインやトラクターが入ることのできない農地が増えているが、脱穀の実績が上がっていることを報じている。

各地で人民経済部門の施設が次々と完成

2021年10月25日付『朝鮮新報』によれば、最近北朝鮮各地で人民生活向上に寄与する施設が次々と完成しているとのことである。黄海北道の正方山の麓に正方山ホテルが竣工し、同月20日に竣工式が行われた。平安北道枇岷郡に平安北道少年団野営所が建設され、同月20日に竣工式が行われた。咸鏡南道定平郡定平

邑光浦アヒル工場宣徳種禽職場白鳥作業班白鳥舎竣工が完成し、同月24日に竣工式が開かれた。農業科学院果樹学研究所沙里院研究分所が新たに建設され、同月24日に竣工式が開かれ、パク・ミョンソン黄海北道農村經理委員会委員長が演説を行った。黄海北道獣医防疫所黄海北道獣医薬品生産基地が建設され、同月22日に竣工式が行われた。

中国人民志願軍朝鮮戦線参戦記念日に際して花輪贈呈

2021年10月26日付『労働新聞』によれば、金正恩総書記が中国人民志願軍朝鮮戦線参戦記念日に際して平安南道檜倉郡にある中国人民志願軍烈士陵园に花輪を送った。また、朝鮮労働党中央委員会と朝鮮民主主義人民共和国國務委員会の名義による花輪が丁重に献じられた。同日、平壤市の友誼塔に朝鮮労働党中央委員会、朝鮮民主主義人民共和国最高人民会議常任委員会、朝鮮民主主義人民共和国内閣の共同名義による花輪が進呈された。また国防省、外務省、社会安全省、対外経済省、文化省の名義による花輪、対外文化連絡委員会と朝中友好協会、朝鮮労働党平壤市委員会と平壤市人民委員会の共同名義による花輪が進呈された。同日、平壤市兄弟山区域、平安南道安州市、檜倉郡、咸鏡北道稔城郡と開城市にある中国人民志願軍烈士陵园、烈士の墓にも花輪が進呈された。

民主朝鮮の社説「金正恩同志の歴史的な施政演説を体して人民生活安定向上を目指す闘争で画期的な転換をもたらそう」

2021年10月27日付『民主朝鮮』によれば、同月26日内閣総会拡大会議が画像会議方式で開催された。金徳訓内閣総理が会議を指導し、内閣副総理であるチョン・ヒョンチョル、パク・ジョングンの両氏をはじめ内閣のメンバーが参加した。内閣の直屬機関、省機関の活動家、道・市・郡人民委員会の委員長、農業指導機関、重要工場、企業の活動家が傍聴した。

会議では、党中央委員会第8期第2回、第3回総会の決定貫徹のための第3四半

期人民経済計画遂行状況を総括し、敬愛する金正恩総書記が最高人民会議第14期第5回会議で行った歴史的な施政演説に示された綱領的課題を貫徹し、今年の闘いを勝利のうちに締めくくるための対策を討議した。

パク・ジョングン内閣副総理兼国家計画委員会委員長が報告を行った。報告者は、四半期の間、人民経済の全ての部門、全ての単位で党の整備戦略、補強戦略の要求に即して生産土台を強化し、生産を増やすための経済組織活動と指揮を綿密に行って成果を取めたことに言及した。党の決定であり、国家の法である人民経済計画を無条件に遂行するために主要工業部門をはじめ人民経済全般で不利な条件と難関の中でも国産化、再資源化をキーポイントとしてとらえて生産の高揚を起こしたことについて指摘した。報告者は、第3四半期の間、経済活動で発露した一連の欠陥と偏向を資料を挙げて通報して原因を分析し、一部の経済幹部の無責任な活動気風と活動態度を決定的に根絶することを強調した。

報告では、年末の経済組織活動を迫力あるものに展開して5カ年計画遂行の初年の人民経済計画を指標別に必ず完遂して人民が待ち、喜ぶ実際の成果、実質的な変化をもたらすことについて強調された。

会議では、討論が行われた。

討論者は経済発展と人民生活向上を目指す問題解決の妙術を科学的に、主動的に搜して握り、大衆を先頭に立て導いていく先導者、執行者、貫徹者になって今年の戦闘を輝かしく締め括る決意を披れきした。

会議では、基幹工業部門間の生産消費の連携を強化し、今年の農業をよく締めくり、一般消費財の品種を拡大することをはじめ、共和国政府の施政方針を貫徹するための当面の課題が具体的に討議された。

会議は幹部が重い荷を背負って非常な活動能力と熱情、投身力を発揮して社会主義建設の前進途上に横たわった難関と試練を果敢に切り抜けることによって党と人民の信頼と期待に明確な仕事の成果で報いることについて強調した。

総会拡大会議は、深みのある研究と真

摯な討議に基づいて内閣決定「金正恩同志が朝鮮民主主義人民共和国最高人民会議第14期第5回会議で行った歴史的な施政演説に示された綱領的課題を貫徹することについて」を全員一致で採択した。

また同紙は「金正恩同志の歴史的な施政演説を体して人民生活安定向上を目指す闘争で画期的な転換をもたらそう」と題した社説を掲載した。同社説には、「人民生活と直結したすべての部門で歴史的な施政演説に提示された政策的課題を決死執行すべきである」とし、農業部門（高収量品種の開発、農作物配置の大胆な変更、二毛作、異常気象による被害を最小限に食い止めるための品種配置や種まきの時期調整、先進営農技術の研究・適用、科学的な水利管理体系の確立）、畜産部門（山羊と牛の頭数を決定的に増やし、大衆の運動でうさぎ飼いを大々的に繰り広げ、飼料の標準を極力下げ、家畜防疫活動を改善）、軽工業部門（原料の国産化と再資源化、消費生産で人民性を高め、消費品の質を向上し、品種を増やし、コストを下げる、地方産業工場を近代化し、生産を正常化し、8月3日一般消費財生産と生活必需品生産を積極化し、社会主義商業の役割を強める）、水産部門（漁船と漁具の近代化と修理、整備を促し、集中的な漁労の展開、魚類缶詰の品種を増やし、いろいろな水産加工品を作ってわが人民の食生活を潤沢にすべき、海の動植物資源を保護し、増殖させ、海と川、湖水に稚魚を放流する仕事を活発に展開し、養魚と養殖を大々的にしてより多くの水産物を生産すべき）の課題を指摘するとともに、「生産成長の最大の予備、最善の方略を技術革新、科学技術力向上で探し、科学技術を捉えてその威力で人民経済計画完遂の近道を切り開かなければならない」「人民経済すべての部門で集团的技術革新運動を力強く展開し、価値ある研究成果を共有し、生産実践に積極的に導入する気風を確立すべきである」と科学技術を重視すべきであるとしている。

新たな食堂が力を付ける — 犬肉料理コンクールで2019年 開業の食堂が一位に

2021年10月31日付『朝鮮新報』によれば、新たな食堂が実力を付けてきており、2019年に開業した平壤市西城区域の西城区域総合食堂臥山犬肉食堂が2021年の平壤市犬肉料理コンクールで総合1位を獲得したそうである。犬肉は日本ではあまり食べられないが、朝鮮半島や中国東北、華南地方、ベトナム等では伝統的に多く食されている。

平安北道品質分析所が 新義州市に竣工

2021年11月1日付『労働新聞』によれば、同年10月31日に平安北道品質分析所が新義州市に新たに建設され、竣工式が行われた。チュ・ Cholナム平安北道党委員会書記、関係者、道品質監査局、道品質分析所従業員がこれに参加した。チャン・セ Chol道人民委員会委員長が竣工の辞を述べた。

品質分析所が立てられることによって品質分析手段と方法を近代化、科学化し、生産物の質を決定的に高めて道内の人民の物質・文化生活向上に積極的に寄与できる土台が整えられるようになった。金正恩総書記は数回にわたって製品の質を客観的に検査する厳しい品質監査体系を確立し、各道に品質分析所を近代的に整えることに対する教えをしたことと関連しているとのことである。

金徳訓内閣総理が平壤市1万世帯住宅の建設場を視察

2021年11月3日付『労働新聞』によれば、金徳訓内閣総理が平壤市寺洞区域松新・松花地区の1万世帯住宅の建設現場を視察した。金徳訓内閣総理は、住宅建設が完工段階に入ったことに合わせて単位別、対象別に応じた工程計画を狂いなく執行し、設計と施工の要求を厳格に守って仕上げと園林緑化の質的水準を徹底的に保障して、人民により文化的で幸せな生活を享受させようとする党の構想と意図を立派に実現することを強調した。

咸鏡南道咸興市で全国保健医療活動家真心経験討論会開催

2021年11月5日付『労働新聞』によれば、同月3～4日、全国保健医療活動家真心経験討論会が咸鏡南道咸興市の咸鏡南道人民病院で開かれた。チェ・ゴンサン保健相と関係部門の活動家、模範的な保健活動家がこれに参加した。

元山製塩所で地下超塩水による製塩開始

2021年11月7日付『労働新聞』によれば、江原道の元山製塩所が地下超塩水による製塩を開始した。同月10日付『朝鮮新報』によれば、地下超塩水とは地下にある濃度の高い塩水のこと。水1リットルあたりに溶解している塩（鉍物質含有量）が50グラム以上で、海水の数倍の濃度を持つ。地下超塩水による製塩方法は、塩田に海水を導入し、水分を太陽の熱や風で蒸発させて食塩を結晶させる天日製塩と比べて、生産量が2～5倍にも及ぶ。したがって生産周期と原価を大幅に低減させることができるとのことである。

小麦と大麦の栽培面積が増加

2021年11月9日発『朝鮮中央通信』によれば、北朝鮮の小麦と大麦の栽培面積が過去に比べて1.7倍程度に増加したとのことである。黄海北道と平安南道、黄海南道では過去に比べ2倍程度に栽培面積が増えたとのことである。これらの栽培は主に二毛作で行われているようである。

国土管理のための工事が進展

2021年11月14日付『朝鮮新報』によれば、北朝鮮各地で国土管理のための秋の総動員期間に成果が拡大しているとのことである。国土環境保護省では河川整理、砂防工事、堤防（張石）補修、海岸の防波堤工事を5カ年計画期間に基本的に終了させ、正常な管理状態に戻せるようにするための計画を立てることに中心をおいて対策を講じているとのことである。

金正恩総書記が三池淵市を視察

2021年11月16日付『労働新聞』によれば、金正恩総書記が三池淵市建設事業が締め括られることに関連して3段階工

の実態を調べるために三池淵市を現地で指導した。趙甬元朝鮮労働党中央委員会組織書記、金徳訓内閣総理、朴正天党中央委員会書記、金才竜党中央委員会部長、パク・ファン内閣副総理と建設部門の指導幹部が同行した。

報道によれば、三池淵市を革命の聖地らしく山間文化都市の立派な標準、理想的なモデル地方都市に転変させようとする金正恩同志の精力的な指導によって3段階に分けて全党的、全国的なプロジェクトとして力強く推進されてきた三池淵市建設事業が今年と締め括られる。三池淵市邑地区の完工に続いて3段階として邑周辺地区と農場を一新させるべきという朝鮮労働党の構想と方針に従って白頭山密営洞、鯉明水洞、神武城洞、5号ムルトン洞、胞胎洞と中興里、フングス里、小白山里、ベクサム里、普西里、トンシン里をはじめ三池淵市の10余りの洞、里に数千世帯の住宅と公共および生産建物、教育施設、上下水道系統、道路と園林緑化、送電線系統を建設する膨大な工事が完工を控えている。

金正恩総書記は、3段階に建設した白頭山密営洞地区、鯉明水洞洞地区、胞胎洞地区住宅と教育施設、文化厚生施設、踏査宿営所と中興農場地区をはじめ市内の複数の対象を現地で指導しながら三池淵市建設工事状況と都市経営実態、農業実態を全面的に調べた。

金正恩総書記は、これまでの4年間にわたる三池淵市建設闘争の中で党と人民の一心団結、渾然一体の不敗の威力とわれわれの方式で、われわれの力で自力繁栄、自力富強を実現していくというわが国家の鉄石の意志と自信、自立的発展可能性が実証されたと述べ、党の決定と政策な現実として具現した三池淵市建設者と支援者と全国の人民に党中央委員会の名で感謝を贈った。また、三池淵市建設過程を通じておさめた成果と経験と基準はわが党の地方建設政策を正しい方向に推進されることのできる明確な指針となると言い、これは地方の変革する新しい始発を開くためのこの闘いで大きな意義を持つと述べた。

金正恩総書記は三池淵市建設で蓄積した優れた経験を積極的に奨励し、拡大

させて地方建設発展と文化的な全社会建設を促す転換的局面を開いていくべきだと言ひ、このようなわが党の雄大な建設政策を偏向なく正確に推し進めていくには地方の建設陣と設計陣を急速に強化し、物質的・技術的土台を強固に築くのが現在、最も緊迫に提起される先決の問題に、戦略的課題になると述べた。

金正恩総書記は、また各道・市・郡で建設と設計陣を強化するための組織的・機構的対策と国家的対策を早急に講じ、施工単位の専門家水準を向上させ、建設監理機関の役割と権能を強めて建設の質を最高の水準で保障することを強調した。

第5回3大革命先駆者大会開催

2021年11月19日、22日付『労働新聞』によれば、第5回3大革命先駆者大会が同月18日～21日、平壤市で開催された。

同大会は第4回3大革命赤旗獲得運動先駆者大会と全国3大革命グループ員熱誠者会議以降、3大革命遂行のための大衆運動過程で収められた成果と経験を共有し、現れた欠陥と教訓を分析総括して、3大革命赤旗獲得運動と3大革命グループ活動を新たに革新するうえで提起される実践的問題を討議することが目的であった。

大会には思想、技術、文化革命遂行で先頭に立っている3大革命旗手と3大革命グループ員、道、市、郡党委員会の責任活動家、省・中央機関の党責任活動家、武力機関の政治活動家、党中央委員会の当該部署の活動家と関係者が参加した。崔竜海最高人民会議常任委員会委員長、金徳訓内閣総理、朴正天党中央委員会書記が活動家席に登壇した。李日煥、呉秀容、太亨徹、金才竜、呉日晶、ホ・ Cholマン、劉進、金栄煥の各氏をはじめとする党と政府の活動家と各道党の責任書記、勤労者団体、省・中央機関の責任活動家、思想、技術、文化革命遂行で模範的实践を見せた活動家、3大革命旗手、3大革命グループ員がひな壇に就いた。クォン・ヨンジン氏をはじめとする武力機関責任活動家がひな壇に姿を現した。

金正恩総書記が第5回3大革命先駆者大会参加者に送った書簡「3大革命の炎を激しく燃え上がらせて社会主義の全

面的発展を成し遂げよう」を崔竜海最高人民会議常任委員会委員長が丁重に伝達した。

大会の報告を李日煥党中央委員会書記が行った。

大会では討論が行われた。

討論では、朝鮮労働党の総路線を高く奉じ3大革命遂行のための大衆運動を力強く繰り広げる過程で収めた成果と経験が言及された。リ・ソン Chol 黄海製鉄連合企業所党委員会責任書記とリム・ソンファ 江西ミネラルウォーター工場支配人、リ・グ Chol 端川青年機関車隊隊長、リュ・ Chol ナム 2.8 洞河青年炭鉱小隊長、リム・ハク Chol 平壤トロリーバス工場作業班長、チョン・ヨンシル 18 号水産事業所支配人、ユン・ソン Chol 祥原セメント連合企業所技師長、チュ・ミョンギル 元山軍民発電所支配人、キム・ミョンファン 三重3大革命赤旗金正淑平壤製糸工場支配人、ヨム・デソン 金策工業総合大学学部長、ハン・ドンスク 平城教員大学附属平城市仲徳小学校校長、キム・インスン 平川区域道路施設管理所セマウル作業班党細胞書記、ファン・ギョ ン Chol 甲山郡沙坪協同農場第1作業班党細胞書記、カン・ボンフン 慈江道党委員会責任書記、チン・チュンイル 江原道党委員会部長、ユン・ギョソプ 江南郡英進協同農場初級党書記、シン・チャンイル 鏡城郡一郷協同農場3大革命グループ員が討論を行った。

20日には、金正恩総書記の書簡に対する集中的な学習が行われた。

大会では全国の3大革命旗手と3大革命グループ員、勤労者に送るアピールが参加者の熱烈な支持賛同の中で採択された。同アピールは、思想、技術、文化の3本の赤旗が力強くはためくほど社会主義の前進動力が倍加され、3大革命旗手の隊伍が増えるほど祖国繁栄の活路がはやく開かれるということ、過ぎ去った大衆運動歴史ははっきりと示しているとしながら、偉大な千里馬運動で山河が震動したその時のように3大革命赤旗獲得運動と3大革命グループ運動を強力に展開して、社会主義建設の全面的発展期を切り開こうというのがわが党の意図であると強調した。

金正日総書記が第5回3大革命先駆者大会参加者に送った書簡

2021年11月19日付『労働新聞』は金正日総書記が第5回3大革命先駆者大会参加者に送った書簡「3大革命の炎を強く燃え上がらせて社会主義の全面的発展を成し遂げよう」を掲載した。書簡の内容は次の通り。

「党の雄大な綱領を貫徹するために一意専心する全人民の英雄的な闘争によって、朝鮮革命の滔々たる前進を立証する貴重な成果が収められている中、第5回3大革命先駆者大会が盛大に開催されました。

歴史の厳しい試練の中でわが人民の信念はさらに強まり、わが国家の力は一層強大になって、われわれの前には偉大な転換の時代が到来しています。

わが党は、社会主義建設の途上でわれわれが到達した現段階と次の段階の闘争目標、革命力量の準備状態と当面の対内外の形勢を分析・評価し、それに基づいて朝鮮式社会主義の確固たる勝利を得るための道は3大革命の旗を一層高く掲げ、思想、技術、文化の各領域に根本的な転換をもたらすことにあるということを改めて確認しました。

そのため党中央は、社会主義・共産主義建設で一貫して堅持している3大革命路線の戦略的地位と変革的意義を再認識・再確認させ、全国に3大革命の炎を強く燃え上がらせるための重要な事業として、第5回3大革命先駆者大会を招集することを決定しました。

第5回3大革命先駆者大会は、3大革命赤旗獲得運動と3大革命グループ運動を思想・技術・文化革命の力強い推進力にするための決定的な契機をつくり、朝鮮式社会主義の全面的発展を成し遂げるうえで今一つの里程碑を立てることになるでしょう。

私はこの機会を借りて、わが党の総路線に忠実に従って人間改造の先駆者、集団的革新の主人公となり、思想・技術・文化革命の遂行に大いに貢献した大会参加者と全国の3大革命旗手、3大革命グループに、党中央委員会と共和国政府の名で熱い感謝と戦闘的な挨拶を送ります。

わが党が三つの赤旗をさらに高く掲げて社会主義の全面的発展を力強く導こうとする時期に、時代の先頭に立って新しい基準と手本を創造し、闘争の生きた模範を示す3大革命先駆者の隊伍が増大しているのは、われわれの偉業の勝利を確信させる大きな力となります。

3大革命路線は昨日も今日も変わらぬ社会主義・共産主義建設の綱領であり、わが党の総路線です。わが国家建設の全歴史はすなわち3大革命の歴史であり、われわれは3大革命路線を実現する道で社会主義の完全な勝利も共産主義社会も迎えない限りなりません。

金日成同志によって歴史に生まれた思想、技術、文化の3大革命という言葉は、社会主義・共産主義建設の全過程で不変の指針とすべき思想と精神、原則と内容、その実現方途が集約化されている名句です。

3大革命路線に貫かれている精神は、自分の力で自国の革命を完遂する徹底した自主精神であり、ここで基本となるのは主体的な革命力量を全面的に強化することです。

社会主義・共産主義への歴史的道程で革命の各段階の任務と主体的・客観的条件は絶えず変化しますが、主体を中核とする革命戦略は変わりません。

前人未踏の道を踏み分け、予測できない挑戦や難関を切り抜ければならぬ社会主義の偉業遂行で常に固く信じてしっかりと依拠すべき主体的な力を培うところに、3大革命の大きな意義と不滅の生命力があります。

歴史的に最短期間に人間も自然も社会も根本的に一新させたチュチェ朝鮮の偉大な変革は、あくまでも3大革命によって成し遂げられたものであり、世人を驚嘆させたわが国家の全ての奇跡はほかならぬ3大革命路線の勝利です。

われわれが建国の当初から3大革命の旗を掲げられなかったならば、自分の運命を自分の力で切り開いていく英雄的人民の誕生も、廃虚の上に強国として浮上した共和国の驚異的な発展も考えることができず、世界的な大政治動乱と前代未聞の挑戦にも微動だにしない社会主義朝鮮の存在を想像すらできなかったでしょう。

3大革命路線のように社会主義・共産主義建設の合法則性にも合致し、わが人民の革命的志向にもかない、世代と世紀を継いでその真理性と優越性、不拔の威力が如実に実証された闘争綱領を持っているのは、わが党と国家のこの上ない矜持であり、誇りです。

われわれは今後100年でも、200年でも3大革命路線を純潔に継承し、完璧に具現していかなければなりません。わが党は、社会主義の全面的発展を加速化して近い将来、自立、自尊によって繁栄する社会主義強国を打ち建てようとしています。

社会主義の全面的発展期は、3大革命路線を具現するためのわが党と人民の長きにわたる闘争の結果として到来した歴史の分水嶺であると同時に、より高い段階の3大革命によって達成される発展の新時代です。

わが共和国政府が施政初期から打ち出した自主、自立、自衛の建国路線は、政治、経済、文化、国防など各分野の同時的発展を志向しており、まさにこのためにわが党と人民は3大革命の旗を高く掲げ、長い間苦難に満ちたねばり強い闘争を展開してきました。

この歴史的闘争過程に共和国の政治的・軍事的力は非常に成長し、ついにはわれわれは社会主義建設の各分野を新しい変化と革新、成長と発展の軌道に確実に乗せる転機を迎えました。

社会主義をゆるぎなく守り、強力に推し進めることのできる決定的要因と基本的条件が備わっている今日に至って、発展・繁栄する社会主義強国は遠い将来の理想ではなく現実的な目標となっています。

社会主義強国への偉大な転換は、すなわち社会の全構成員の革命化、技術経済力の高度化、社会全般の文明化の過程です。わが国家第一主義時代の要請に即して人々の品格と人格を高め、国家経済を全般的発展へと移行させ、農業生産構造を替え、朝鮮式の新しい文化生活様式を確立する問題をはじめ社会主義強国建設のための重大課題は、各分野、各部門、各人の変化と発展、文明を前提とし、全党、全国、全人民が参加する3大革命総進軍を求めています。

朝鮮式社会主義の全面的発展は本質

上、思想、技術、文化の3大領域における新しい革命です。全人民を党の思想に基づいて団結させ、経済の自立的で持続的な発展を裏付ける科学技術的土台を構築し、全人民を人材化し、あらゆる文化的後進性を一掃する3大革命の目標を達成してこそ、わが国家の先進性、現代性を新たな段階に引き上げることができます。三つの赤旗を一層力強くなびかせることに、社会主義の全面的発展に関するわが党の理念、朝鮮革命の要求を現実化する早道があります。

3大革命を原動力として国家・社会生活の全ての分野、全国の全ての地域の同時的・均衡的発展を強力に促すというのが今回の大会の基本精神です。

「全ての革命陣地を3大革命化しよう!」、われわれはこの闘争スローガンを高く掲げて進まなければなりません。

各部門、各単位、各地域が3大革命化されれば、それはすなわちわれわれが達成しようとする社会主義の全面的発展であり、自立、自尊によって繁栄する社会主義強国、人民の理想社会です。全社会を3大革命化するためには、3大革命赤旗獲得運動と3大革命グループ運動に拍車をかけなければなりません。

思想・技術・文化革命を推進するうえで3大革命赤旗獲得運動と3大革命グループ運動より強力な推進力はなく、その正当性と生命力はわれわれの社会主義建設の実践を通じて実証されました。党はすでに、3大革命赤旗獲得運動と3大革命グループ運動の性格と使命、この運動で堅持すべき原則と要求、方途を全面的に、かつ具体的に示しました。

重要なのは、発展する時代と現実的条件に即してそれをいかに具現するかということです。党中央は、3大革命赤旗獲得運動と3大革命グループ運動の現実態を調査・分析し、それに基づいてこれらの運動に活力を吹き込むための方針を打ち出しました。

何よりもまず、3大革命赤旗獲得運動を革命発展の要請に即して拡大・強化しなければなりません。3大革命を新たな段階で力強く推し進めるべき時代の要請からして、わが党は3大革命赤旗獲得運動を今のように機関、企業、工場、協同農場、職

場や作業班だけを単位にして繰り広げるのではなく、市、郡、連合企業所を包括するより広い範囲に拡大し、名実ともに全社会的運動、全人民的運動として展開することにしました。

最も高い形態の大衆運動としての3大革命赤旗獲得運動の性格からしても、全人民の一致団結によって勝利していく社会主義偉業遂行の必然的要求と各分野、各地域を均等に発展させるべき現段階の革命任務からしても、この運動を市、郡、連合企業所に拡大するのは正しいことです。

金正日同志は3大革命赤旗獲得運動の最初ののろしを上げた1970年代にすでに、今後この運動が深化するにつれて市、郡、連合企業所を単位にして展開するという賢明な方針を提示しました。わが国で市、郡は社会主義建設の地域的拠点であり、当然3大革命の拠点とならなければなりません。

社会主義建設が深化・発展するにつれて、3大革命赤旗獲得運動が市、郡を単位にして繰り広げられるのは合法的であると言えます。市、郡を単位にして繰り広げる3大革命赤旗獲得運動は、市・郡党委員会をはじめとする各級党組織と幹部の責任ある態度と全人民の参加を前提とし、全国を3大革命で沸き立たせるきわめて威力ある方式です。

わが党は、党政策貫徹を直接的、統一的、総合的に組織・実行する基本単位としての市、郡を非常に重視しており、市、郡の発展を通じてわが国家の復興を促す市・郡強化の政策を力強く推し進めています。

党政策の貫徹と3大革命は別途の問題ではありません。わが党の政策はその包括範囲と内容が全て思想、技術、文化の3大領域に属しており、その中で市、郡が直接責任を持って実行すべき政策的課題はきわめて多いです。

地方産業工場を近代化し、農村を一新させ、学校と病院を改造する問題はもとより、住宅建設、園林緑化、治山治水など党が打ち出す重要政策は、市、郡のような地域を単位にして実行される3大革命の課題であり、思想革命を優先させながら同時に技術・文化革命を推し進めるとい

う3大革命遂行の原則的要求を完璧に具現する時にのみ、その成果を保証することができます。

今のような最悪の条件の下でも全国に名をとどろかし、あらゆる面で先頭に立っている市、郡は、例外なく党責任幹部が3大革命赤旗獲得運動の真価を知り、党政策の貫徹過程を3大革命の過程に転換させている単位です。

全国の200余の市、郡が3大革命の旗を高く掲げて奮起するならば、地方が変革する新しい局面が開かれ、近い将来にわれわれの農村は近代的な技術と文明を兼ね備えた裕福で文化的な社会主義農村に変わらざるを得ないでしょう。

地方の面貌が変わり、農村の昨日と今日が確然と比較されることから社会主義建設の全面的発展期が始まり、まさにここで朝鮮式社会主義の優越性と真面目が表れるようになります。市・郡党委員会は、3大革命赤旗獲得運動を市・郡強化の強力な武器としてとらえて全ての活動をここに志向させ、市・郡党委員会の活動についての総括・評価も当然、この運動の状況を基本としなければなりません。

3大革命赤旗獲得運動は、全人民が3大革命を自分自身のための活動として受け止めるようにする政治活動から始めなければなりません。党中央が3大革命赤旗獲得運動の市、郡への拡大・発展を構想しながら大いに頼ったのは、自分の要求と利害関係を自覚した大衆の自発的で積極的な闘争です。

広範な大衆が、自分自身をより真実で文化的な人間に改造し、自分が住み次代が代を継いで住むべき地方を立派に変貌させるのがほかならぬ3大革命だということを知覚するならば、恐るべき力を発揮して立ち上がるでしょう。市・郡内の幹部から末端の農場員に至るまで自発的に動員されるように、党中央の意図を正しく認識させるとともに、彼らを精神的、文化的に啓発させる活動を常に先行させなければなりません。

自分の地域の発展のための展望計画や設計図を作成するにしても、芸術公演やスポーツ・文化行事一つを催すにしても政治性・文化性と品位を高めて、その過程がすなわち人々の眼界を広め、発達した文化を教える契機になるようにすべきです。

わが国の人々の意識状態がかなり変わっているため、新しいものを見せ、聞かせるほど政治意識と美学観、活動態度と生活方式において急速な変化が起こり、それが3大革命赤旗獲得運動を促す重要な要因として作用するでしょう。

市、郡を単位として繰り広げる3大革命赤旗獲得運動は、今日に至って始まるのではなく、市・郡強化路線を貫徹するための闘争の連続であり、3大革命が高揚・深化する過程です。

市、郡にはすでに3大革命赤旗を授与された単位もあり、さまざまな大衆運動を通じて得た成果と経験も少なくないので、しっかりと手はずを整えて大胆に取り組みさえすればよいのです。市・郡党委員会は、地域内の全ての行政・経済機関と単位を3大革命赤旗獲得運動に決起させ、党の指導を深めて3大革命赤旗、2重、3重3大革命赤旗単位の隊伍を不断に拡大すべきです。市・郡党責任書記をはじめとする全ての幹部が3大革命という言葉を常に口に、市・郡全体が3大革命の熱意で沸き立てば、人々の思考意識と文化水準が高まり、市、郡の面貌が一新するでしょう。

国の全ての市、郡で3大革命赤旗獲得運動の旋風を巻き起こすためには、道党委員会が舵取りを正しく行うことが重要です。道党委員会は、3大革命赤旗獲得運動が活発に繰り広げられるように作戦を綿密に行い、掌握・指導を深化させて、共產主義理想郷の大門を真っ先に開く市、郡が続々と出るようにすべきです。

各道に3大革命展示館を整えるべきです。

自分の道内の市、郡と連合企業所が3大革命を遂行する過程で得た価値ある成果資料を展示して参観を活発に行えば、多くの幹部と勤労者を啓発させ、彼らの奮発心と競争熱を呼び起こすのにも効果的であり、短時間内に優れた経験と方法を体得し、先進技術を共有するのにもたいへん実利的でしょう。

道党責任書記が直接掌握して3大革命展示館を、追いつけ追い越せ・見習い運動と経験交換運動を推し進め、3大革命の遂行に活力を吹き込む重要な学習の場、技術交流の場、情報交流の場に整えるべきです。全国に3大革命赤旗獲得運

動の炎を強く燃え上がらせるためには、この運動に対する幹部の見解と観点から革新しなければなりません。

今3大革命赤旗獲得運動は、一部の模範的な単位と先駆者に限られています。

幹部からまず経済的困難のような目前の難関に萎縮し、この運動に対する確信を持っていないため、少なからぬ単位が3大革命赤旗獲得運動において前進がなく、一部の単位は3大革命赤旗称号を授与されてから20年が過ぎても一等級高い称号を獲得できずにいるあります。

条件が困難なのでこの運動に参加できないと言ってもならず、困難であるほどこの運動に決起し、旋風を巻き起こさなければなりません。平凡な人も英雄に育て、落伍者も先進分子に仕立て、小さな手でも伝説のチョンリマ(千里馬)を呼び寄せるのが、われわれの独特な大衆運動思想の威力であり、伝統です。

3大革命の溶鉱炉の中で敗北主義をはじめとするあらゆる不健全な思想が一扫され、万事がうまく行くという観点、まさにここから革命が起こるものです。

3大革命赤旗を獲得した単位と獲得していない単位との差は、何よりもこの運動の特性と威力に対する幹部の観点の差です。全ての幹部は、人民大衆の力を信じてそれに依拠すれば不可能なことはないというチュチェ思想の原理と、その具現である共和国の英雄的叙事詩を学びながら成長した革命家です。

幹部は、人々の革命化、共産主義化を推し進め、集団的英雄主義と集団的革新の威力を最大限に発揮させる3大革命赤旗獲得運動の特性をよく知り、その大河の流れにためらうことなく飛び込んで単位の発展の新しい道を切り開くべきです。

3大革命赤旗獲得運動に対する指導を改善しなければなりません。3大革命赤旗獲得運動の歴史はほぼ半世紀になっていますが、まだ多くの単位が3大革命赤旗を授与されておらず、すでに授与された単位の中でもその役割をまともに果たせない単位が少なくないのを見ても、この運動に対する指導に欠点があるということが分ります。

今3大革命赤旗獲得運動は、判定を受けるための運動、旗を授与されればそれで

すむ運動のようになっています。3大革命赤旗獲得運動に対する指導は当然、全ての単位をこの運動に決起させることから始まり、運動の全過程に対する恒常的な掌握と指導、公正な判定、そして赤旗を授与された単位が引き続き高い目標を立て、3大革命の遂行の先頭に立つようするための不断の指導・援助と再判定、実質的な総括で貫かれなければなりません。

3大革命赤旗獲得運動に対する指導を改善するうえで、党中央委員会の宣伝扇動部の任務がきわめて重要です。現在、活動上の特殊性とさまざまな条件によって、少なからぬ単位がこの運動に参加しなくてもすむようになっています。

3大革命路線は、社会主義建設者なら誰もが従い貫徹しなければならないので、3大革命赤旗獲得運動に参加しない単位や勤労者はあり得ません。

党中央委員会の宣伝扇動部は、全ての単位や人が3大革命赤旗獲得運動に決起するように指導書と判定規定など以前の基準を見直し、更新するものは更新し、補充するものは補充して、実のある指導になるようにすべきです。

3大革命赤旗獲得運動の熱気を高揚させるうえで、正しい賞罰制を実施することが重要です。

3大革命赤旗獲得運動で模範を示した単位と3大革命旗手に対する政治的・物質的評価を正しく行い、より多くの単位と広範な大衆が切実な利害関係を持って奮い立つようにすべきです。

同じ単位に長年勤務してその単位を3大革命赤旗、2重、3重3大革命赤旗単位にするのに特出した寄与をなした幹部と、党政策貫徹の赫々たる成果をもって3大革命旗手集団の栄誉を輝かせていく単位には高い勲章と表彰も授与すべきです。

特に、3大革命赤旗を獲得した市・郡には勲章と表彰を授与するだけでなく、国家的な優遇措置も実施する必要があります。

何事においても総括や評価を公正に行い、賞罰を明確に適用しなければなりません。

3大革命赤旗獲得運動で遅れをとっている市・郡党責任書記、3大革命赤旗単位の隊伍から除名されたり、称号を剥奪された単位の党責任幹部は然るべき責任を

負わなければなりません。

3大革命赤旗獲得運動を市・郡、連合企業所の範囲に拡大するにつれて、この運動に対する指導を円滑に担当・遂行できるように職能を正しく作成し、必要な機構や職制も補充すべきです。

3大革命赤旗獲得運動が活性化するかどうかは、この運動を直接担当して指導する幹部の水準と能力に大きくかかっています。

3大革命赤旗獲得運動を指導する幹部は、党の思想と各時期に提示される党の方針に精通するばかりでなく、各分野の党政策にも通曉すべきであり、行政・経済活動実務や科学技術にも明るく、高い文化的素養を身につけなければなりません。

特に、自分の担当地域に秘められている党の指導業績についてよく知り、具体的実情と特性に即して指導を追いつかせるための方法論を不断に研究・適用すべきです。

道・市・郡党委員会をはじめとする各級党委員会でも、大衆運動を担当した幹部を多方面にわたって準備のできた有能な人で固めることに深い注目を払い、少なくとも5年以上は定着させる制度を樹立すべきです。

3大革命赤旗獲得運動に対する指導を宣伝扇動部だけが行うものと認識してはなりません。

党中央委員会から各級党委員会の各部署が下部の党組織に対する指導を3大革命赤旗獲得運動と密接に結び付けて行い、宣伝扇動部との提携作戦、協同作戦でこの運動を積極的に推し進めなければなりません。

雑誌『3大革命赤旗』を、3大革命赤旗獲得運動を先導し推し進める重要な手段となるように編集を改善すべきです。

雑誌『3大革命赤旗』は、3大革命赤旗獲得運動で模範を示している党組織と幹部の成果や経験ばかりでなく、欠点や教訓となる問題も取り扱い、決意目標の作成と総括方法などの実務的な問題も取り扱えるように必要な措置を取るべきです。

3大革命赤旗獲得運動と社会主義愛国功労者に見習う運動は密接な相関関係にあります。3大革命のつぼの中で素晴らしい人間の典型が輩出し、社会主義

愛国功労者こそは3大革命先駆者の中の先駆者です。

党が社会主義愛国功労者を高く押し立てるのは、一生涯骨の折れる持ち場でいかなる功名や報酬も望まず、党と革命、祖国と人民のために清らかな良心と誠実な汗をささげている彼らの強い忠誠心と美しい愛国至誠が実にありがたく大切なものであるからです。

社会主義愛国功労者に見習う運動を積極的に繰り広げて、前世代が発揮した忠誠と愛国の模範が年代と年代を継いで引き続き再現されるようにすべきです。今後、社会主義愛国功労者大会などを催しそれを恒例化すれば、思想的・精神的に、かつ道徳的に崇高な高さに達した先駆者の姿を通じて、わが党が望み、祖国が記憶する真の生に関する生々しい教本を持つでしょうし、新しい世代の教育にも非常に有益でしょう。

3大革命グループ運動を活性化しなければなりません。

思想、技術、文化の各分野で革新的な変化と発展、朝鮮式の文明を開拓していく変革の時代に当然、3大革命グループは先兵となり、前衛として活躍しなければなりません。党の思想と路線を誰よりもよく知り、現代知識と文化を身につけた新世代の知識人集団、理想と抱負が大きく、新しいものへの志向と革命熱、創造熱の高い錚々たる青年前衛に対する党と人民の信頼と期待は大なるものです。

3大革命グループという貴い呼称は今の新たな新たな革命の時代に闘争と前進の旗のように翻るべきであり、3大革命前衛という荣誉ある称号は当然、激変する時代の象徴として一層誇らかに輝くべきです。

現段階において3大革命グループの任務は、技術革命を基本として派遣単位の3大革命化を推進することです。今日、朝鮮革命を支えるうえで科学と工業の果たす重大な役割とともに、技術革命の意義はより一層大きくなっています。

経済・技術分野で新たな革命が起こらざるには、現代文明へと進むことができず、社会主義の思想的基盤を強固にすることもできません。それゆえ、党は3大革命グループをほかならぬ朝鮮革命の重要陣地に技術革命の別働隊として派遣したのです。

3大革命グループは、技術革命ののろしを上げて技術改造、技術創造、技術跳躍のための闘いに青春の熱情を注いで当該単位の発展と飛躍の早道を開拓しなければなりません。

3大革命グループは、現実の中に深く入り、現場の技術者や勤労者との創造的協力を強めて、派遣単位の生産と経営活動に実際に役立つ科学技術の成果を上げるべきです。

全国各地の3大革命グループが確実な科学技術の成果を一件ずつ提出し導入するだけでも、現実での難問が少なからず解決され、それを火種にして全国に技術革命の炎を強く燃え上がらせることができます。

生産現場で探究しながら学び、学びながら探究して、新しい技術創造の先頭に立つのが3大革命グループの活動方式とならなければなりません。

3大革命グループは、覇気と情熱に溢れ、進取の気性に富む青春時代に、祖国と人民のために遠い将来にも誇り高く追憶しうる創造の足跡をはっきりと残すべきです。

3大革命グループは、派遣単位の3大革命化を強力に推進できる大きな潜在力を持っています。3大革命グループは、党的・国家的眼識と革新的な考察力を持って現実を透視し、派遣単位の3大革命の遂行に役立つ斬新かつ建設的な意見を積極的に提起すべきです。

当該単位の党組織の指導の下に大衆政治活動も行い、常に大衆の中で、大衆の先頭に立って模範を示し、新しい知識と新しい技術を普及する主人となって技術革新の雰囲気主導していくべきです。

首都の発達した文化、都市の先進文化を地方へ、山間僻地へ普及させるうえで強い伝播力と影響力を発揮しなければなりません。3大革命グループがあるところなら、どこでも革命的で生気はつらつとした雰囲気がみなぎり、創造と闘争の熱風が起るべきであり、3大革命グループなら、みなが集団が尊敬し見習う3大革命の先駆者になるべきです。

わが党は、党と国家の強化・発展を担っていく有望な後続幹部を育成するうえで、3大革命グループ活動を非常に重視しています。われわれの全ての革命陣地を3

大革命化するための闘いは幹部革命を伴い、若くて有能な後続幹部を体系的に、かつ大々的に育成することを求めています。

3大革命グループはグループ活動期間を、党と国家の恩恵に報いる第一歩であると同時に、自身を将来の民族幹部に鍛える時期として大切に、気高い思想的・精神的品格と高い実務的能力を備えるために絶えず努力しなければなりません。

党の意図に理想を追いつかせ、党が心配する問題の解決のために毎日、毎瞬間、思索と実践を続けていく真の革命家、進取のかつ革新的であり、困難を恐れぬ剛毅な気質の持ち主、遠い将来にも自分の活動を祖国と人民の前に誇らしく総括できる誠実で良心的な人間、高尚な文化と道徳によって人々の心をとらえる素晴らしい青年になるのが3大革命グループの熱烈な志向とならなければなりません。

最近の3大革命グループに対する指導は一言でいって、中身のない外形ばかりのものだと言えます。中央から下部に至るまでの整然たる指導体系がないので、統一的な指揮と深みのある具体的な指導が保障されず、3大革命グループ運動は活気を失っています。

党中央委員会の当該部署と各級党組織は3大革命グループ活動の実態を全面的に、かつ具体的に分析し、不合理な要素をもなく探し出して適切な改善対策を講じるべきです。

3大革命グループ運動の活性化は当然、3大革命グループの質的・量的強化から始まらなければなりません。政治的、思想的に健全で、学業成績の優れた大学卒業生を厳選する原則を堅持するとともに、経済部門間の均衡を保ち、全般を盛り立てるのに役立つように派遣陣容をさらに強化すべきです。

3大革命グループを生産単位にだけ派遣していた従来の枠から脱して地域単位にも派遣し、党の市・郡強化路線の貫徹において一役担うようにすべきです。こうすれば、重要経済部門を盛り立てる活動と地域の発展を促す活動を同時に推し進めながらも、3大革命グループに対する指導をより着実に、グループの役割も強めることができます。

全国的規模で提起される技術陣の需

要と派遣可能性を十分に検討し、経済発展と人民の生活向上においてキーポイントとなる重要生産単位と各地域に派遣する3大革命グループの規模を適切に定め、グループ派遣を戦略的に、かつ能動的に行うべきです。

党組織と幹部はグループに対する指導を重要な党の課題としてとらえ、高い責任感を持って絶えず深化させ、3大革命グループを押し立てて自分の地域、自分の単位で懸案となっている科学技術上の問題も解決し、3大革命化の突破口を切り開かなければなりません。

3大革命グループがわが党の派遣員という誇りを持って最大の馬力を出すように活動条件と生活条件を十分に保障し、実績を上げるグループ員を押し立て、さまざまな方法で表彰もして、彼らの精神力と創造的熱意を高揚させなければなりません。

各級党組織は、3大革命グループ活動期間に活動と生活で模範を示す大学卒業生を幹部として積極的に抜擢、登用し、彼らが生産現場で革命化、労働者階級化した知識人らしく党と人民のために変わることなく忠実に奉仕するように正しく導かなければなりません。

国家科学技術委員会をはじめとする当該部門、当該単位は、3大革命グループが技術革命の前衛としての役割を円滑に遂行できるように指導を下部に接近させ、要求の度合いを強めなければなりません。

3大革命グループの技術革新活動が国家の利益と時代の趨勢、現実の要求に即して正しく行われるように掌握・指導と審議を責任を持って行い、展示会、参観をはじめ3大革命グループの視野を広め、創意を啓発する活動を多様に組織・展開しなければなりません。

3大革命先駆者はわが党が大事にし、押し立てる中核であり、宝です。

思想、技術、文化の3大戦線をしっかり守っている皆さんのような立派な忠臣、愛国者が多いので、わが党と国家の基盤は強固であり、全国を3大革命化する闘争は躍動と前進の激流をもたらすでしょう。

全ての大会参加者は、金日成同志と金正日同志の貴い革命遺産であり、社会主義建設の強力な推進力である3大革命赤旗獲得運動と3大革命グループ運動を新たな段階に引き上げるための闘争で先駆者としての榮譽を引き続き輝かせなければなりません。

わが党が打ち出した闘争目標は膨大であり、困難は依然として折り重なっていますが、われわれはあらゆる条件が備わるまで待っているわけにはいきません。ひたすらわれわれの力とわれわれの方式の発展針路に沿って、屈することなく力強く前進しなければなりません。

私は、全ての幹部と党員と労働者が3大革命の力強い炎を燃え上がらせて歴史のあらゆる挑戦をはね除け、朝鮮式社会主義の全面的復興を必ずもたらすものと確信しています。

ともに、必勝の信念と不屈の意志を持って偉大なわが国家の尊厳と栄光のために、社会主義の完全な勝利のために力強く闘っていきましょう。」

平安北道軍民龍川養豚場がリニューアル

2021年11月24日発『朝鮮中央通信』によれば、平安北道で軍民龍川養豚場のリニューアル工事が行われ、同月23日、竣工式が行われた。龍川郡の活動家と労働者たちがすべてのものが不足する条件の中、同工場のリニューアル工事に参加し、完成させたとのことである。

亀城養鶏場がリニューアルオープン

2021年11月25日発『朝鮮中央通信』によれば、平安北道亀城市の亀城養鶏場がリニューアルされ、同月24日、竣工式が行われた。数十の生産棟を改造し、自動化、工業化を実現し、(飼料)添加剤および発酵飼料生産場、メタンガス発電所、有機質複合肥料生産基地棟も新たに建設されたとのことである。

平安北道基礎食品工場竣工

2021年11月26日発『労働新聞』によれば、平安北道内の幹部と勤労者の献身的闘争によって平安北道基礎食品工場が建設され、竣工した。生産工程のストリームライン化、無菌化、無人化が実現された近代的な工場であるとのことである。竣工式が同月25日、現地で行われた。

ムン・ギョンドク平安北道党委員会責任書記、関係部門、道基礎食品工場の幹部、従業員、建設者がこれに参加した。竣工の辞をチャン・セ Chol 平安北道人民委員会委員長が述べた。彼は、道内の幹部と建設者が当該単位との緊密な連携の下で自力更生の革命精神で搾乳機と油注入機をはじめとする数十種に130余台の設備を自力と技術で制作設置したと言及した。彼は工場に統合操縦室、製品見本室、衛生通過室などが立派に立てられ、原料準備工程、納豆生産工程、油生産工程、醤油発酵および熟成工程をはじめ基礎食品生産工程がライン式に立派に具備され、従業員のための各種の便宜施設が素晴らしく立ち上がったことについて言及したとのことである。

天聖一聖山川自然流下式排水坑完成

2021年11月27日発『朝鮮中央通信』は、平安南道の青年たちが平安南道殷山郡の天聖から聖山川に至る天聖一聖山川自然流下式排水坑が完成したとのことである。この排水坑により、天聖青年炭鉱地域の坑道から出てくる地下水を自然に排水できるようになったとのことである。

新義州養鶏場のリニューアル工事完成

2021年11月29日付『労働新聞』によれば、平安北道の新義州養鶏場のリニューアル工事が完成し、同月28日、竣工式が行われた。養鶏棟の温湿度、排風、エサの供給を統合操縦室から自動で管理できるようになったとのことである。

ERINA 調査研究部主任研究員
三村光弘